

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
美術科の授業実践例

福山市立東中学校

- 1 学年・題材名 第2学年 仏像物語（鑑賞）
- 2 本時の目標 進んで作品を鑑賞し，造形の特徴を見付けることができる。
- 3 本時の工夫点 主述や根拠を明確にした発表や表記をするよう，発表や表記の仕方を例示する。  
（情報を正しく伝える技術）  
作品を見比べながら，共通点や相違点に着目させ，作品について幅広く気付きをもたせる。（様々な角度から物事を見る技術）

4 授業の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 鑑賞作品を見る。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p> <p>作品を鑑賞し，造形の特徴を見付け，分類しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と学習内容を説明し，学習活動の見通しをもたせる。</li> <li>・班長を中心に班討議をさせ，様々な意見を交わしながら学習を進めさせる。</li> </ul>	
<p>3 作品を比較鑑賞し，特徴的な表現や共通的な表現を探し出す。</p> <p>・班内で作品について対話しながら，鑑賞を深める。</p>	<p>情報を正しく伝える技術 付箋紙の記入の仕方について，確認する。</p> <p>・作品 と は～なところが似ている。 ・作品×は～の形が・・・である。 一方，作品 の～の形は～である。</p> <p>様々な角度から物事を見る技術 複数の作品を見比べながら，共通点や相違点に着目させ，作品について幅広い気付きをもたせる。</p>	<p>「作品の表現の特徴を見付けることができる。」</p> <p>・いろいろな視点を持ちながら作品を鑑賞し，各仏像の表現の特徴を見付けることができる。 (観察・発表・ワークシート)</p>
<p>4 作品の特徴に基づき，作品を4つのグループに分類し，発表する。</p>	<p>情報を的確に分析する技術 作品の共通点や相違点を整理させ，分類の根拠として説得力をもつ表現の特徴を探させる。</p> <p>情報を正しく伝える技術 どのような視点でグループ分けしたのか，根拠を明らかにして発表させる。</p>	<p>「仏像の造形に関心を持ち，学習活動に意欲的に取り組んでいる。」</p> <p>・自分の考えを付箋紙に表している。 (観察・自己評価・ワークシート)</p>
<p>5 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の表情・服装・台座等に着目させ，仏像の特徴をまとめさせる。</li> </ul>	
<p>6 本時の学習を振り返り，自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対してどのように評価するか，評価について補足説明する。</li> </ul>	